

地に花

令和5年9月20日 NO.15

エリア別大学訪問が行われました

9月12日(火)、科学探究エリアの生徒全員と社会探究エリアの一部の生徒(看護系志望者)で北海道科学大学を訪問してきました。新川高校からバスで20分ほど移動すると、北海道科学大学に到着。生徒たちはバスの窓から見える広い敷地と綺麗なキャンパスに、まずは圧倒されていたようでした。大学の学食を経験し、様々な学部学科の全体説明を聞いた後、事前の希望調査で決まったコースごとに模擬授業を2時間受けてきました。二つの分野がセットとなったコースでしたので、どちらも希望通りというわけにはいかなかったと思います。その分もともとあまり知らなかった分野の話も聞くことができ、視野を広げることができたのではないのでしょうか?今回の訪問を機に、ぜひ他の大学のオープンキャンパスにも参加して比較し、それぞれの進路選択につなげていきましょう!



大学訪問を終えての感想(レポートより)

大学訪問を終えてのレポートより数名の感想を紹介します。

残念ながら大学訪問が中止になってしまった1~4組の皆さん、5組の社会探究エリアの皆さんは、「当日の様子」や「同級生が感じたこと」をこの感想を通じて想像してみましょう。



高校よりもより授業の内容が専門的になるので、自分のなりたい職業や好きなことを学ぶことができるのは絶対に高校より勉強が楽しくなると思った。

自分の進路の視野を広げることができた。



今回は実際に大学訪問をして、そして講義を受けることができ、大学のイメージが一気に湧きました。

その大学の設備も大学選択に大切な要素だと思いました。そして大学は自分に本当に興味のある内容じゃないと大変苦しいものだと思います。



実際に大学訪問をしてみて、今まで思っていた大学というものが一気に変わっていききました。

大学というところが楽しく、面白そうなイメージが変わって、大学選びが楽しいなと思いました。



大学は座学よりも実験などのほうが大切なのもかもしれない。

自分の好きな分野を専門的に学ぶことができる場所が大学なので、より進学が楽しみになった。



まだ、はっきりとした進路希望がないのでいろいろな学問を知り、選択の幅が広がりました。

特に、今回の大学訪問で講義を聞いた2つの学問はほとんど知らなかったので知ることができてよかったです。



進路を考えるにあたって、大切なことは「自分の目で確かめること」、「たくさんの情報を得て、自分が進みたい将来(目標)に近づくことのできる選択をすること」です。後期のFTでは進路探究学習として、第一志望宣言を書く活動が控えています。今からはっきりとした進路の見通しをもつことが学習のモチベーションにもつながります。オープンキャンパスをはじめ、進学先の情報を得ることができる機会を積極的に持ちましょう。